

全国高等学校インテリア科教育研究会

平成26年度 第1回協議会

平成26年5月9日(金)
午後1時から午後4時
東京都立工芸高等学校
小会議室

<日 程>

13時00分～16時00分 第1回理事会

第1回理事会次第

- 1 開会の言葉
- 2 会長挨拶
- 3 議 事
 - 1 平成25年度 事業報告・・・・・・・・第1号議案
 - 2 平成25年度 会計報告・・・・・・・・第2号議案
 - 3 平成26年度 事業計画・・・・・・・・第3号議案
 - 4 平成26年度 予算(案)・・・・・・・・第4号議案
 - 5 その他
- 4 閉会の言葉

参加者

会長 理事長 理事 会計 監事
教科目研究会担当 ものデザインコンテスト担当 ホームページ担当

1 平成25年度 事業報告 (第1号議案)

(1) 大会

大会名：第48回全国高等学校インテリア科教育研究大会 “創立50周年記念千葉大会”

主催：全国高等学校インテリア科教育研究会

後援：文部科学省、千葉県教育委員会、公益社団法人全国工業高等学校長協会ほか

期日：平成25年8月1日(木)、2日(金)

会場：ホテルポートプラザちば

当番校：千葉県立市川工業高等学校

参加者：130人

内容：○講話「これからの専門高校の教育について」

文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官 持田雄一 様

○記念講演

①「インテリアの歴史と夢と未来」～大災害を乗り越えて～

インテリア文化研究所代表 本田榮二 様

②「東京ディズニーリゾート サービスの基本理念」

株式会社オリエンタルランド営業本部営業一部営業一課長 松本浩一 様

○研究発表

①「鬼瓦制作から知的ものづくりへ」 宮城県工業高校 大出光一 先生

②「ものづくりとデザイン、美術」 三重県立伊賀白鳳高校 西井和秀 先生

③「隼工展への取り組みと今後の課題」 隼人工業高校 濱田賢一 先生

○ものデザインコンテスト表彰式および受賞生徒プレゼンテーション

○総会・・・議事1から議事8まで、すべて原案の通り承認される。

○50周年記念祝賀会

(2) 協議会

第1回協議会 平成25年5月10日(金) 場所：市川工業高校 応接室

13:00～14:00 第1回教育課程委員会、会計監査

14:00～17:00 第1回理事会

第2回協議会 平成25年7月31日(水) 場所：市川工業高校 会議室

14:00～17:00 第2回理事会、第5回記念誌編集委員会

第3回協議会 平成26年2月21日(金) 場所：千葉県立市川工業高等学校

11:00～12:00 第2回教育課程委員会、会計監査

13:00～17:00 第3回理事会

(3) 委員会・担当

①教育課程委員会 (博多工業高校：白石)

②記念誌編集委員会 (臼田高校：中野)

第4回記念誌編集委員会 平成25年4月12日(金) 市川工業高校

第5回記念誌編集委員会 平成25年7月31日(水) 市川工業高校

千葉大会で記念誌「50年のあゆみ」を配布する。

- ③ものデザインコンテスト担当（都立工芸高校：斎藤）
第7回高校生ものデザインコンテスト募集
50周年記念千葉大会で受賞生徒によるプレゼンテーションを行った。

④ホームページ担当（市川工業高校：村川）

⑤委員会について（理事長）

平成26年度から委員会を凍結する。（総会承認事項）

(4) 優良生徒表彰

平成25年度加盟校関係学科卒業見込み生徒。全定各1名。

(29校、31名を表彰)

(5) 賛助会員および個人会員の募集

新規入会：学校法人 片柳学園（日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校）

(6) 関係団体の催し

①平成25年度 九州地区高校生家具・工芸技術競技大会

主催：九州地区工業教育研究協議会インテリア系分科会

共催：全国高等学校インテリア科教育研究会

後援：九州地区工業高等学校長協会ほか

期日：平成25年7月13日（土）～14日（日）

会場：鹿児島県立隼人工業高等学校

参加資格：九州地区の工業系学科を置く高等学校に在籍する生徒で、九州各県で行う代表選考会により、県代表として選出されたもの。

参加生徒：6校・6名

表彰：最優秀賞（1位）熊本県立八代工業高等学校インテリア系2年生

優秀賞（2位）鹿児島県立鹿児島工業高等学校インテリア科2年生

優秀賞（3位）宮崎県立宮崎工業高等学校インテリア科3年生

②第48回 東北・北海道地区インテリア科教育研究大会

主催：東北・北海道地区インテリア科教育研究会

共催：全国高等学校インテリア科教育研究会

協賛：秋田市教育委員会

日時：平成25年7月25日（木）、26日（金）

場所：秋田公立美術大学

当番校：秋田公立美術大学附属高等学院

③第28回 全国高等学校インテリアデザイン展

主催：一般財団法人 大川インテリア振興センター

後援：文部科学省、九州経済産業局、福岡県、福岡県教育委員会、大川市、大川市議会、大川市教育委員会、全国高等学校インテリア科教育研究会ほか

応募期間：平成25年7月31日（水）・・・エントリー締切

平成25年8月26日（月）～9月6日（金）・・・出品申込期間

テーマ：「あなたがワクワクするインテリア」をデザインしよう

参加校 27校 応募数 256点 入賞 25名

入賞作品は第64回大川木工まつり(10/12～14)で展示

④平成25年度 住まいのインテリアコーディネートコンテスト 高校生部門

主催：公益社団法人 インテリア産業協会

後援：経済産業省

応募期間：平成25年11月16日（土）～12月26日（木）

課題：楽しいリビング空間

参加校 11校 応募数 67点 入賞 8名

※今年度から高校生部門を新設した。参加校が少なかった。

(7) その他

○熊本県立水俣工業高等学校建築科(インテリアコース)が、今年度末で退会する。

○福井工業大学附属福井高等学校進学科創造科学コース住環境分野が、今年度募集停止。

○東北・北海道地区インテリア科教育研究会が、今年度をもって解散する。

○平成26年4月1日から全イ研事務局は東京都立工芸高等学校インテリア科に移転する。

2 平成25年度 決算報告(第2号議案)

(1)一般会計

収入の部

(単位:円)

項 目	25年度予算	25年度決算	比較増減	摘 要
1 繰越金	432,175	432,175	0	
2 学校会費	300,000	300,000	0	10,000円×30校
3 個人会費	10,000	10,000	0	2,000円×5名
4 賛助会費	230,000	200,000	-30,000	10,000円×18社 20,000×1社
5 補助金	50,000	50,000	0	全工協より
6 雑収入	100	71	-29	利子
合 計	1,022,275	992,246	-30,029	

支出の部

(単位:円)

項 目	25年度予算	25年度決算	比較増減	摘 要
1 事務費	50,000	53,740	3,740	タブレット端末、事務消耗品
2 通信費	30,000	5,360	-24,640	切手、メール便
3 会議費	3,000	4,525	1,525	湯茶、菓子
4 渉外費	40,000	40,930	930	JAFICA年会費、交通費等
5 事業費	850,000	591,342	-258,658	
① 教育研究大会費	100,000	100,000	0	千葉大会
② 研究協議会費	450,000	225,340	-224,660	役員・役職者交通費
③ 教育課程研究費	10,000	2,320	-7,680	
④ 学科推進研究費	0	0	0	委員会休会
⑤ ホームページ運営費	50,000	49,960	-40	運営経費
⑥ 優良生徒表彰	30,000	23,806	-6,194	賞状・バインダー送料
⑦ 生徒参加型競技会	160,000	160,420	420	コンペ・競技会助成 ※注
⑧ 地区教研費	0	0	0	
⑨ 記念誌編集費	50,000	29,496	-20,504	編集経費
6 予備費	49,275	50,506	1,231	高校生ものデザインコンテスト不足分助成
合 計	1,022,275	746,403	-275,872	

※注は、高校生ものデザインコンテストと九州地区高校生家具・工芸技術競技大会のことで、各80000円を計上
 $992,246円(収入総額) - 746,403円(支出総額) = 245,843円(差引残高)$
 差引残高245,843円は平成26年度に繰り越します。

(2) 特別会計

収入の部

(単位:円)

項 目	25年度予算	25年度決算	比較増減	摘 要
1 繰越金	2,343,849	2,343,849	0	
2 記念誌積立金	0	0	0	
3 寄付金	0	450,342	450,342	
4 雑収入	300	241	-59	利子
合 計	2,344,149	2,794,432	450,283	

支出の部

(単位:円)

項 目	25年度予算	25年度決算	比較増減	摘 要
1 50周年記念事業	1,300,000	1,300,000	0	記念誌発行等
2 記念事業等積立	1,000,000	0	-1,000,000	次期記念事業等積立
3 予備費	44,149	864	-43,285	
合 計	2,344,149	1,300,864	-1,043,285	

2,794,432円(収入総額) - 1,300,864円(支出総額) = 1,493,568円(差引残高)

(3) 監査報告

平成25年度一般会計決算ならびに特別会計決算を監査した結果、通帳および帳簿等の書類が適正に執行されていることを認めます。

平成26年 5月 9日

監 事 中山 充徳 (山梨県立峡南高校)

監 事 谷口 鎌三郎 (福岡市立博多工業高校)

3 平成26年度 事業計画 (第3号議案)

(1) 協議会

第1回協議会 平成26年 5月 9日 (金) 場所：東京都立工芸高等学校

第2回協議会 平成27年 2月13日 (金) 場所：東京都立工芸高等学校

(2) 事業担当

①ものデザインコンテスト担当 H25 齋藤 (都立工芸) ⇒ H26 村川 (市川工業)

②ホームページ担当 H25 村川 (市川工業) ⇒ H26 鈴木 (都立工芸)

(3) 教科目研究会

期 日：平成26年8月7日 (木)・8日 (金)

会 場：大阪市立工芸高等学校、ほか

当番校：大阪市立工芸高等学校インテリアデザイン科

内 容：1日目 ものコン表彰式・施設見学・実習体験 (於：大阪市立工芸高等学校)

2日目 実習体験・併設施設見学

(於：大阪市立工芸高等学校及び併設施設デザイン教育研究所)

(4) 第8回高校生ものデザインコンテスト

主 催：全国高等学校インテリア科教育研究会

後 援：社団法人 全国工業高等学校長協会

協 賛：拓殖大学、千葉工業大学、東海大学、日本工業大学、青山製図専門学校

(予定) 専門学校ICSカレッジオブアーツ、タケダコーポレーション、日本インテリア学会

日本フリースタイルインテリアコーディネーター協会

参加資格：全国高等学校インテリア科教育研究会加盟校の生徒

募集部門：クラフト部門、インテリアデザイン部門

課 題：クラフト部門 テーマ：自由

インテリアデザイン部門 テーマ：高校生の住まいを考える

表 彰：最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞

担 当 校：千葉県立市川工業高等学校

*応募要項等は全イ研ホームページに掲載。FAXにて連絡済。

エントリーは7月4日必着、作品送付は7月8日～18日消印有効。

審査は7月29日市川工業高校(予定)、発表は7月30日 全イ研HPで

(5) 優良生徒表彰

例年通り行う。

(6) 賛助会員および個人会員の募集

継続して行う。

(7) 会員の表彰および顧問の推薦

長野県白田高等学校の中野 稔先生を表彰するとともに、顧問として推薦する。
経歴：理事、学科推進委員長、記念誌編集委員長等を歴任。

(8) 関係団体の催し

①第13回九州ものづくりコンテスト宮崎大会(家具工芸部門)

7月12日(土)・13日(日) 宮崎工業高校

②第28回 全国高等学校インテリアデザイン展 (デザイン甲子園)

主催：(財)大川インテリア振興センター

*詳細は後日主催者から発信される予定。

③平成26年度 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト 高校生部門

主催：公益社団法人 インテリア産業協会

後援：経済産業省(申請中)

応募資格：国内在住の高校生

募集部門：高校生部門

課題：「愉快で楽しいリビング空間」

(一辺1.8mの立方体2個と一辺3.6m立方体がつながった空間を設定し、
愉快で楽しいリビングのインテリア空間を提案する)

表彰：インテリア産業協会会長賞(1点)高校生部門賞(1点)

優秀賞(2点)、奨励賞(3点)

応募期間：7月8日～28日(必着)

結果発表：8月上旬 *応募要項等はインテリア産業協会HPに掲載予定。

4 平成26年度 予算 (第4号議案)

(1) 一般会計

収入の部

(単位：円)

項 目	25年度予算	26年度予算	比較増減	摘 要
1 繰越金	432,175	245,843	-186,332	
2 学校会費	300,000	290,000	-10,000	10,000円×29校
3 個人会費	10,000	8,000	-2,000	2,000円×4人
4 賛助会費	230,000	200,000	-30,000	10,000円×20口
5 補助金	50,000	50,000	0	全工協より
6 雑収入	100	100	0	利子
合 計	1,022,275	793,943	-228,332	

支出の部

(単位：円)

項 目	25年度予算	26年度予算	比較増減	摘 要
1 事務費	50,000	50,000	0	備品、消耗品等
2 通信費	30,000	30,000	0	切手、メール便
3 会議費	3,000	3,000	0	湯茶等
4 渉外費	40,000	40,000	0	JAFICA年会費、交通費等
5 事業費	850,000	600,000	-250,000	
① 教育研究大会費	100,000	0	-100,000	
② 研究協議会費	450,000	350,000	-100,000	役員交通費
③ ホームページ運営費	50,000	50,000	0	HP運営経費
④ 優良生徒表彰	30,000	30,000	0	賞状、バインダー、送料
⑤ 生徒参加型競技会	160,000	120,000	-40,000	コンペ助成 ※注
⑥ 地区教研費	0	50,000	50,000	教科目研究会助成
⑦ 教育課程研究費	10,000		-10,000	
⑧ 記念誌編集費	50,000		-50,000	
6 予備費	49,275	70,943	-21,668	
合 計	1,022,275	793,943	-228,332	

※ 九州地区高校生家具工芸技術競技大会が高校生ものづくりコンテスト九州大会家具工芸部門に変わり、全イ研からの助成が不要となりました。よって26年度の予算計上は高校生ものデザインコンテスト分のみとなります。

(2) 特別会計
収入の部

(単位：円)

項 目	25 年度予算	26 年度予算	比較増減	摘 要
1 繰越金	2,343,849	1,493,568	-850,281	
2 寄付金	0	0	0	
3 雑収入	300	300	0	利子
合 計	2,344,149	1,493,868	-850,281	

支出の部

(単位：円)

項 目	25 年度予算	26 年度予算	比較増減	摘 要
1 記念事業等積立	1,000,000	1,400,000	400,000	次期記念事業等積立
2 50周年記念事業	1,300,000		-1,300,000	
3 予備費	44,149	93,568	49,419	
合 計	2,344,149	1,493,568	-850,581	

5 役員改選

役 職	平 成 2 5 年 度		役 職	平 成 2 6 年 度	
	氏 名	学 校 名		氏 名	学 校 名
会 長	小野 祐司	千葉県立市川工業高等学校	会 長	松本 光正	東京都立工芸高等学校
副 会 長			副 会 長	前田 哲司	宮崎県立宮崎工業高等学校
理 事 長	楚山 修司	千葉県立市川工業高等学校	理 事 長	斎藤 俊博	東京都立工芸高等学校
副理事長			副理事長	田中 義雄	宮崎県立宮崎工業高等学校
理 事	工藤 武彦	青森県立弘前工業高等学校	理 事	阿部 孝行	岩手県立水沢工業高等学校
	中野 稔	長野県白田高等学校		楚山 修司	千葉県立市川工業高等学校
	佐伯 高基	富山県立高岡工芸高等学校		中野 文晴	静岡県立科学技術高等学校
	白石 和義	福岡市立博多工業高等学校		高宮 誠	熊本県立八代工業高等学校
	西 浩一 田中 敬三	熊本県立熊本工業高等学校			
	田中 義雄	宮崎県立宮崎工業高等学校			
会 計	金子 裕行	千葉県立市川工業高等学校	会 計	森田 聡	東京都立工芸高等学校
監 事	森田 聡	東京都立工芸高等学校	監 事	中山 充徳	山梨県立峡南高等学校
	大野 弘次	香川県立高松工芸高等学校		谷口 鎌三郎	福岡市立博多工業高等学校
教育課程委員 ○は委員長	○白石和義 工藤 武彦 大出 光一	福岡市立博多工業高等学校 青森県立弘前工業高等学校 宮城県工業高等学校	委 員 会	*平成26年度から凍結。	
学科推進委員	*平成25年度は休会。				
記念誌編集委員 ○は委員長	○中野 稔	長野県白田高等学校			
	岸上 恭史	秋田美工短大附属高等学院			
	金子 裕行	千葉県立市川工業高等学校			
	森田 聡	東京都立工芸高等学校			
	室谷 伸治	岐阜県立高山工業高等学校			
	恵村 正大	三重県立伊賀白鳳高等学校			
	望月 洋	全イ研顧問			
HP担当	村川 剛啓	千葉県立市川工業高等学校	HP担当	鈴木 杏由未	東京都立工芸高等学校
ものコン担当	森田 聡	東京都立工芸高等学校	ものコン担当	村川 剛啓	千葉県立市川工業高等学校
			教科目研担当	岡田 依子	大阪市立工芸高等学校

*「HP」とは、ホームページのこと。「ものコン」とは、高校生ものデザインコンテストのこと。

*「教科目研」とは、教科目研究会のことで、大会の開催されない年度に行われる。(隔年開催)

6 その他

(1) 監査について

※年度最後の協議会で行っていた中間監査は止め、同日の理事会では会計担当からの中間報告のみでよい。監事は年度最初の協議会と総会の参加・報告のみでよい。

理由①・・・中間監査の必要性が薄い。

理由②・・・研究協議会費（役員等旅費）の削減が必要。

(2) 委員会が行っていた活動について

※委員会凍結期間は、理事会がその実務を担当する。

- ・教育課程委員会⇒各種調査統計（教科書・進路）、自作副教材の提供、等
- ・学科推進委員会⇒業界・学会・大学等との連携、PR活動、学校間交流、等

(3) 顧問の選任について

※本人の承諾を確認した方のみを次年度以降の顧問とする。

- ・理事会の推薦により顧問を置くことができる。（会則第9条）
- ・理事会において推薦し、総会の承認を得る。（運営内規第4-3）

(4) 記念誌「50年のあゆみ」の残部について

※1500冊発行し、関係各所に配布した。現在、市川工業に300冊残っている。

⇒配布先としてお心当たりのある方は、宛先と冊数を市川工業までお知らせください。